

くるま旅

Kuruma Tabi®

FREE
MAGAZINE
2013

VOL. 009

一般社団法人
日本RV協会発行 JRV®

キャンピングカーで
北国の「道の駅」再発見

食寝遊備
[くうねるあそび]
kuu-neru-aso-bi
東北編



全国に続々オープン
話題のRVパーク情報
湯YOUパークやキャンプ場などの公認宿泊ポイントも

キャンピングカーで 北国の「道の駅」再発見

食、寝、遊、備 [くうねるあそび] **東北編**



キャンピングカー旅行の醍醐味は、まずそれぞれの地方に向かなければ味わうことのできない地元の名物料理。
そして、その地方の人たちに昔から愛されてきた個性豊かな温泉。
それらをたっぷり味わうことができるのが、いつでもどこでもさまざまな宿泊や休憩を保証してくれるキャンピングカーです。

キャンピングカーはその小さな空間に「食べること」の喜びと、「寝ること」の快適さと、
「遊ぶこと」の楽しみをコンパクトにパッケージした夢の乗り物。
その車内に備わっている照明、冷蔵庫、ガスレンジなどを有効に使えば、「道の駅」やホテルの駐車場だって、あなたの別荘に早変わり。

日本RV協会では、そのようなさまざまな旅を実現するために、全国の「道の駅」にはキャンピングカー専用施設の「RVパーク」を。
そして、ホテルや旅館においては、その施設の温泉を利用しながら、
駐車場に止めた自分の車で寝られる「湯YOUパーク」を整備してきました。
もちろん、各地のキャンプ場とも連携し、キャンピングカーユーザーが利用するときの割引料金システムを導入するなど、
さまざまな便宜を図っています。

いまキャンピングカーを活用できるフィールドはものすごい勢いで充実してきました。
そんな新しい旅のスタイルを活かして、さあ、どこへ向かいますか？

いいところがあります！
それが、グルメと温泉の宝庫、東北地方。
今回の『くるま旅』では、この東北地方を中心に、
キャンピングカーの旅情報をお伝えすることにいたしましょう。



キャンピングカーで東北「道の駅」のグルメを堪能

その
1



こんな味があったか!!

東北の創意工夫が生んだ究極のご当地料理

東北地方は“グルメ旅”の最適地。季節の織りなす海と山の幸に恵まれた「おいしい食材」の宝庫である。

キャンピングカー旅行のだいご味は、なんといっても、地元的新鲜な食材を使った郷土料理に直に触れること。

今回は、東北地方の「道の駅」で味わえるさまざまなグルメ情報を

フリーペーパー『michi-co』の編集スタッフにご指導いただき、ここに紹介する。

秋田県

「道の駅・象潟 ねむの丘」

秋田県にかほ市の“給食から生まれた”ご当地グルメ。昭和40年代、給食のうどんを注文していた平沢小学校の給食室に、間違っって中華乾麺が配達されたとか。そこで、栄養士と調理師が急きょ工夫して作ったのが、このあげそば。一度素揚げした中華乾麺を干しいたけ出汁の効いたつゆに豚肉と野菜を入れて煮込んだところ、驚くほどのうまさ！子どもたちが大喜びしたために給食の定番メニューとなり、さらに現在ではご当地グルメに。550円

あげそば

Data | 住所：秋田県にかほ市象潟町字大塩越73-1
電話：0184-32-5588



寝遊備食
[くうねるあそび]
kuuseryobishoku



油麩井

あぶらふどんぶり



宮城県

「道の駅・林林館 森の茶屋」

グルテン麦粉を水でこねて熟成した生麩をじっくり揚げたのが「油麩」。良質なタンパク質を豊富に含んでおり、肉が貴重な時代からの登米地方の重要な栄養源でもあった逸品。味そのものを主張することなく、一緒に調理する野菜やだしの旨味を吸って上品なコクをプラスする。650円

Data | 住所：宮城県登米市東町米川字六反33-1
電話：0220-45-1218

山形県

「道の駅・河北 ぶらっとぴあ」

蕎麦どころ山形でも珍しい冷やしつゆの蕎麦。コクがあり旨みの強い鶏だしと薄口しょうゆの上品な味が特徴。冷たくしたのは「酒の肴にしてゆっくり食べても伸びないように」という理由から。昭和20年代から受け継がれてきた郷土の味としてB級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリ」に出展され、河北町を全国にPRすることになった人気メニュー。730円

Data | 住所：山形県西村山郡河北町谷地字真木335-1
電話：0237-71-0529



青森県

「道の駅・とわだ とわだぴあ」

「農アイス」とは、十和田市の農産物を生かしたソフトクリーム。2010年から発売され、多い日には1日600個も売れたことがあるという。

手がけているのは、道の駅・とわだに農産物を出荷している「(株)直産とわだ」の40代、50代の地元のお母さんたち。ソフトに使われる原材料は、十和田産のお米「まっしぐら」と十和田産の大豆「おおすず」の豆乳。トッピングには、珍しい野菜やハーブも使われている。お正月、節分などに合わせてスペシャルデコレーションアイスも人気だ。ワッフルタイプ280円

Data | 住所：青森県十和田市大字伝法寺字平窪37-2
電話：0176-28-3790



凍みつばなし井

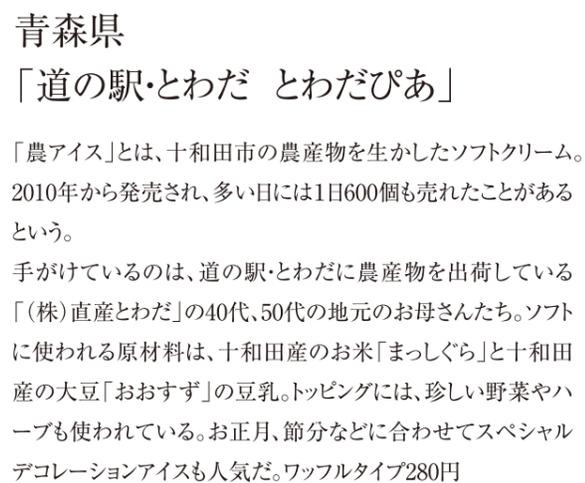
しみつばなし

宮城県

「あ・ら・伊達な道の駅」

伊達正宗が青年期を過ごした岩出山には、豆腐を凍結熟成した「凍みつばなし」という料理が昔から伝わっている。この「凍みつばなし」に衣をつけて揚げ、甘じょっぱく煮込んでご飯に載せたのが「凍みつばなし井」。一口食べるとカツ井の味。そして二口目からは豊かな大豆の香りが味わえる。500円

Data | 住所：宮城県大崎市岩出山池月字下宮道下4-1
電話：0229-73-2236



農アイス

キャンピングカーで東北「道の駅」のグルメを堪能

その
2

ラーメンとハンバーガーは日本人の国民食 今や、その最先端を行くのが東北

地元の食材や、地元の伝統料理を巧みに採り入れ、そこに日本人の食生活に定着したラーメンを掛け合わせる。

それがいま全国に広まっている「ご当地ラーメン」。

なかでも、味の追求にかけては、他の地方の追随を許さないのが東北だ。

食
遊
備
[くうねるあそび]
[kusaneru-aso-bi]

特製大粒
しじみラーメン



青森県
「道の駅・十三湖高原」

青森のブランド食材「十三湖しじみ」を存分に入れた極上ラーメン。しじみのエキスと煮干ダシをあわせた白濁スープは濃厚な味わいがたっぷり。1,100円

Data | 住所：青森県五所川原市相内実取287-1058
電話：0173-62-3710(レストランわらび)

牛煮込み
ラーメン



山形県
「道の駅・いいで」

国産黒毛和牛を使用した贅沢なラーメン。柔らかく煮込んだ牛肉と、ごぼう&ねぎが醤油ベースの純和風スープと贅沢な競演を披露。950円

Data | 住所：山形県西置賜郡飯豊町大字松原1898
電話：0238-86-3939

ご当地ラーメンシリーズ

フカヒレ
ラーメン



宮城県
「道の駅・大谷海岸」

気仙沼名物の高級食材フカヒレを使ったコラーゲンたっぷりの美肌麺。中華風に煮込んだフカヒレの濃厚なうま味があっさり塩味のスープと絶妙にマッチング。900円

Data | 住所：宮城県気仙沼市本吉町三島94-12
電話：0226-44-3180

会津山塩
ラーメン



福島県
「道の駅・裏磐梯」

しょっぱい温泉で知られる大塩裏磐梯温泉水を煮詰めて天日干しにした貴重な山塩ベースで作った透き通った黄金色のスープ。ミネラルたっぷりのまろやかな味わいが特徴。ほどよく縮れた麺との相性が抜群。650円

Data | 住所：福島県耶麻郡北塩原村大字松原字南黄連沢山1157
電話：0241-33-2241

ご当地バーガーシリーズ



岩手県
「道の駅・雫石あねっこ」

地元パン工房の手作りパンズに、雫石牛入りメンチカツと地元産の新鮮キャベツをサンド。すべて地産地消の名物バーガー。350円

Data | 住所：岩手県岩手郡雫石町橋場坂本118番地10
電話：019-692-5577

フランス鴨
親子バーガー



秋田県
「道の駅・東由利」

道の駅・東由利の人気商品が「フランス鴨バーガー」。その「フランス鴨バーガー」に、地元特産フランス鴨のパーティを使い、フランス鴨の玉子を使用したパンズを挟んだのが「フランス鴨親子バーガー」。特性ピリ辛ソースとの相性が抜群。450円

Data | 住所：秋田県由利本荘市東由利老方字畑田28
電話：0184-69-2611

近年全国に広がっている「ご当地バーガー」だが、東北の道の駅でも地域の食材を生かしたオリジナルバーガーがいっぱい。そのうちのいくつかを紹介。



青森県
「道の駅・よこはま」

陸奥湾産ホタテ貝の貝柱をたっぷり使ったビッグなホタテフライと、菜の花を入れたオーロラソースが特徴の絶品バーガー。380円

Data | 住所：青森県上北郡横浜町字林ノ脇79-12
電話：0175-78-6687

喜多方
ラーメン
バーガー



福島県
「道の駅・喜多の郷」

喜多方ラーメンのおいしさがギュッと詰まった話題の逸品。パンズ代わりに地元産の小麦粉を使った麺を焼き固め、醤油ラーメンスープを塗り、麓山高原豚の厚切りチャーシュー、ネギ、メンマ、ナルトを挟んだ本格派。350円

Data | 住所：福島県喜多方市松山町鳥見山字三町歩5598-1
電話：0241-21-1139

東北の「道の駅」は名湯パラダイス

キャンピングカーで回ってみたい評判の温泉



食
寝
備
遊
[くねるあそび]
kuu-neru-asobi

東北の「道の駅」には、温泉を併設しているところが16カ所もある。
しかも、そのどれもが、その土地の風土と伝統に培われた個性豊かな風貌に彩られている。
キャンピングカーの東北旅行のキーワードは、ずばり「道の駅名湯めぐり!!」

ふたごの湯

宮城県
「道の駅・上品の郷」
じょうぼんのさと

温泉を持つ道の駅でも特に人気が高いのが、宮城県「道の駅・上品の郷」にある「ふたごの湯」。鉄分を含んだ赤茶色のお湯には美肌効果があり、しかも体を芯から温めてくれると評判。県内産杉材を使った木造建築の館内は、まるで高級旅館の趣き。広い休憩室や、食堂、売店、マッサージルームも完備している。



Data | 住 所：宮城県石巻市小船越字二子北下1-1
電 話：0225-62-4126
定 休 日：毎月第4火曜日
料 金：大人500円
入浴時間：9:00～21:00

関の庄温泉・御仮屋御殿

青森県
「道の駅・いかりがせき」

名湯・秘湯に恵まれた青森県でも、特に地元住民から支持されている温泉のひとつが碓ヶ関の「関の庄温泉」。その温泉を引いた「道の駅・いかりがせき」にある「御仮屋御殿（おかりやごてん）」では、大浴場のほか、殿様気分が味わえる貸し切り風呂が名物。泉質はツルツルと肌をすべるクセのない単純温泉で、体に優しい。



Data | 住 所：青森県平川市碓ヶ関阿原23-2
電 話：0172-46-9355
定 休 日：12月31日と1月1日
料 金：大人300円
入浴時間：9:00～20:00

なの花温泉^{でんでん}田田

山形県
「道の駅・庄内みかわ」

山形県・庄内地方にある「なの花温泉田田」は、県外からも多くの方が集まってくる有名温泉。1990年にオープンしてから入浴者が600万人を超えるという人気を誇っている。無色透明な食塩泉と、にごり茶褐色の強食塩泉の2本立て。どちらも疲労回復、慢性皮膚病に効能がある。食堂の料理もおいしいと評判。

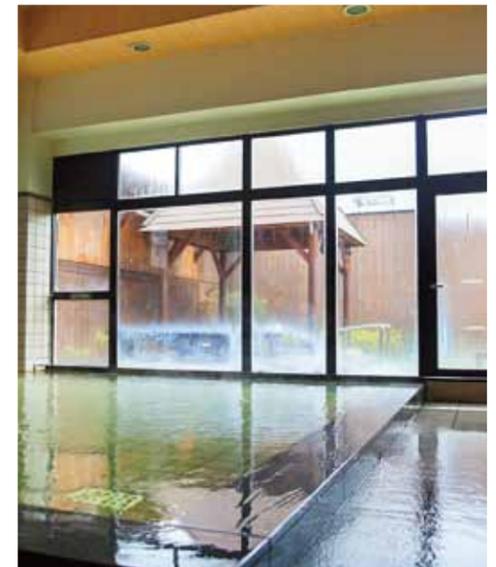


Data | 住 所：山形県東田川郡三川町大字横山字堤172-1
電 話：0235-66-4826
定 休 日：毎月第3水曜日の6:00～17:00
料 金：大人400円
入浴時間：6:00～22:00

東和温泉

岩手県
「道の駅・とうわ」

釜石自動車道の東和インターからわずか1分。好アクセスを誇っているため、ドライブ途中の利用客が多い。湯は、美肌によいとされるアルカリ性温泉と、湯に炭酸ガスを溶かし込んだ炭酸泉。「体が芯から温まる」と利用客からは好評である。隣接する「おためし工房」では、自分でジャムやソース、パン作りを楽しむことができる。



Data | 住 所：岩手県花巻市東和町安俣6-135
電 話：0198-42-4311
定 休 日：毎月第1水曜日、1月と5月は第2水曜日
料 金：大人600円
入浴時間：冬季10:00～21:00、夏季～22:00

東北の温泉は風情が違う

北国だから発達した温泉文化



食寝備遊
[くうねるあそび]
[kuu-neru-asobi]

岩城温泉・港の湯

秋田県

「道の駅・岩城」

湯に浸りながら、日本海の絶景を堪能できる岩城温泉「港の湯」。全面ガラス張りの内風呂に入り、雪の舞い散る冬の日本海を見物するのも一興。晴れた日なら、より海に近い露天風呂に浸かり、島のようにかすむ男鹿半島を眺めるのも楽しい。お湯はちょっと熱めの強塩泉。外の寒い日でも、じわじわと体を温めてくれる。



Data 住所：秋田県由利本庄市岩城内道川字新鶴湯192-43
電話：0184-73-3789
定休日：4~6月第2水曜、7~8月無休、11~3月第2・第4水曜と1月1日
料金：大人400円
入浴時間：9:00~21:00

蔵の湯

福島県

「道の駅・喜多の郷」

山あいの美しい風景を見ながら、露天風呂でのんびりと心身を癒す贅沢が味わえる道の駅・喜多の郷の「蔵の湯」。なめらかな泉質は化粧水のようにだと女性客から評判だ。地産地消にこだわった名物料理が人気を呼んで、ドライブの途中にここを訪れることを楽しみにしている常連客も多い。



Data 住所：福島県喜多方市松山町鳥見山字三町歩5598-1
電話：0241-21-1526
定休日：毎月第1水曜日と12月31日
料金：大人500円
入浴時間：9:00~21:00

東北地方の「道の駅」における公式マガジン[みち・コ]

[michi-co] みち・コミュニケーション

東北地方のドライブ旅行に欠かせない情報誌が、『michi-co』。これは東北観光の振興を目指して、「東北『道の駅』連絡会」が年4回発行しているフリーマガジンで、東北全域に広がる「道の駅」の案内所を中心に置かれ、そこを訪れる人々に、道の駅を中心としたグルメ、温泉、観光イベント情報などを提供している。

誌名の『michi-co』には、「みち・コミュニケーション」という意味が反映されており、東北を訪れる旅行者が「道を通じて」さまざまな人々、物産、観光資源と交流してほしいという願いが込められている。

切り口は、徹底した現場密着主義。

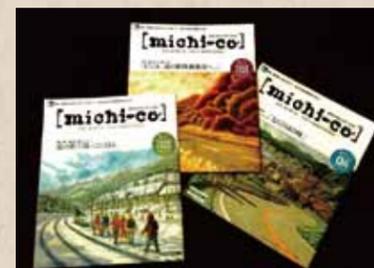
取材者がグルメや温泉などのテーマに沿って現場を訪れ、その地で提供される旬の味や、お風呂の泉質を肌で感じ、管理者たちの談話もしっかり収録して、丁寧に誌面をつくっている。

誌面から立ち上ってくるのは、人と人が触れ合うことの温かさ。どのページを開いてみても、東北の「道の駅」で働く人々の笑顔と優しい言葉が絶えることがない。だからページを開くと、まるで誌面そのものが、地方から訪れた旅行者に向かって、東北人を代表して歓迎の挨拶を行っているかのようだ。

巻末には、東北「道の駅」のマップや季節ごとのイベント情報なども盛りられ、ドライブ旅行をサポートする実用性の高い誌面づくりが行われている。



好評につき、第5号(6月25日発行)からは年間定期購読も受付中！
詳しくは第5号、または東北「道の駅」連絡会までお問合せください。



発行 / 東北「道の駅」連絡会
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-13-32 オーロラビル2F
TEL:022-398-5518 FAX:022-722-3381
企画・監修 / 特定非営利活動法人 東北みち会議
企画・制作 / michi-co編集部 (川口印刷工業株式会社内)
〒020-0841 岩手県盛岡市羽場10-1-2
TEL:019-632-2211 FAX:019-632-2217

※ このたびの『くるま旅』9号の制作では、画像提供などを含め、この『michi-co』編集部より多大なご協力をいただきました。

ますます広がる“公認!” キャンピングカー宿泊ポイント

温泉を堪能してからキャンピングカーでくつろぐ

湯YOU
パーク

ホテルの駐車場で気楽な車中泊

「湯YOUパーク」とは、キャンピングカーユーザーが、「くるま旅クラブ」と契約を結んだホテルや旅館の温泉を楽しみ、寝るときは、駐車場に止めた自分のキャンピングカーを使うという宿泊システムのこと。このシステムを利用すれば、ホテルの宿泊者だけに限定されている温泉でも気楽に入浴できて、しかも宿泊料金は部屋を取るよりもリーズナブル。まさに、キャンピングカーのキャラクターをいかんなく発揮した旅行スタイルだ。このような宿泊システムを受け入れてくれるホテル・旅館は、現在日本全国に100カ所以上。その所在地や連絡先などは「くるま旅クラブ」のホームページを開き「湯YOUパークパートナーリスト」から見るができる。今年はその数も約2倍に拡大する予定なので、キャンピングカーユーザーにとっては、快適な宿泊場所がさらに増えることになる。

料金体系は、各ホテルによって微妙に異なるが、平均的な目安として「湯YOUパーク利用料」（駐車代）が2,000円程度。入浴料は1人400円～1,000円程度。なかには、入浴や食堂を利用すれば、湯YOUパーク利用料を無料にするところもある。この湯YOUパークを利用する場合は、原則的に予約が必要。またどのホテルも、基本的には館内の宿泊客を優先するため、その利用客で駐車場が満杯になっているときは、「湯YOUパーク」の利用はできない。しかし、ホテルごとに規約や対応が微妙に異なるため、場合によっては融通を利かせてくれる可能性もある。したがって利用計画を立てたときは、事前に問い合わせを入れてみた方がいいだろう。
<http://www.kurumatabi.com/yypark/list.html>



元湯



露天風呂浮湯

湯YOUパークパートナー
「古牧温泉・青森屋」
■ 住所：青森県三沢市古間木山56
■ 電話：0176-51-2121（予約センター）

道の駅での快適なキャンピングカー泊を約束する

RV
パーク

ゆったり駐車スペースにAC電源つき

キャンピングカーユーザーの休息や仮眠における利用率がもともと高いのが、「道の駅」。ここで車中泊を経験したユーザーは9割近くになるといわれる。しかし、道の駅はこれまで“宿泊スペース”として明文化されていなかったため、ユーザーのなかには、施設の管理者や他の駐車車両、あるいは近隣の民家などに気がつかないながら仮眠をとっていた人もいたはず。日本RV協会では、このようなユーザーの便宜を図るため、道の駅などの公共駐車場に、公式に認められたキャンピングカー専用宿泊スペースを設ける「RVパーク構想」を企画してきた。それが昨年より具体化し、夏から年末にかけて日本全国で3カ所のRVパークが誕生した。このRVパークというのは、道の駅などの駐車場の一角に、有料を条件にAC電源供給設備やゴミ処理システムなどを整えたもので、日本RV協会の理念でもある「安心・快適なキャンピングカー泊」を実現するもの。昨年夏に第1号が山口県の萩市に誕生。続いて12月には群馬県・太田市、熊本県・山鹿市にオープンした。これらの施設では、いずれも大型車両の駐車も可能なゆったりした駐車スペースが確保され、施設内もしくは近隣に入浴施設が完備するなど、キャンピングカーユーザーのための様々な便宜が図られている。



RVパークたまがわ



RVパークやまが



RVパークおおた



RVパークおおた



RVパークたまがわ



RVパークたまがわ

食
遊
寝
備
[くるま旅のあそび]
kurumeta-asso



キャンピングカー泊をする前に知っておきたい くるま旅のマナー

- 道の駅や高速道路のSAやPAなどの公共の駐車場で、連泊、長期滞在を行わない。
- キャンプ場以外の公共駐車場で休憩をとるときは、オーニングを広げたり、椅子やテーブル、バーナーなどを車外に持ち出して使わない。
- 公共駐車場の洗面所などで食器や食材を洗ったり、そこから電源を引いてキャンピングカーに接続したりしない。
- 旅行中や移動中に発生した大量の生活ゴミを、公共の駐車場のゴミ箱などに投棄しない。公共駐車場の水道設備を利用した給水はできるだけ控える。
- カセットトイレやポータブルトイレの処理は主にキャンプ場か自宅で。また、公共駐車場の水道設備を利用した給水はできるだけ控える。
- 生活排水用のグレータンクの汚水をその場に垂れ流したり、側溝に捨てたりしない。
- 公共駐車場におけるジェネレーター（発電機）の使用は、他の利用客が休息していたり、近所に民家があるような場所では控える。
- オフ会やクラブミーティングで公共駐車場に集合する場合は、騒音に注意。
- 道の駅や高速道路のSA・PAにある車椅子マークの駐車場には、健康者のみが乗車しているときは駐車しない。
- 無駄なアイドリングによる排気ガスの流出や騒音は避ける。

安全、安心、快適な キャンピングカー泊を可能にするRVパーク 昨年全国に3カ所誕生 さらに拡大する勢い

目の前に温泉、隣りはキャンプ場、海水浴場まで2分

RVパークたまがわ 山口県

山口県萩市に誕生した「RVパークたまがわ」の特徴は、なんといっても目の前に田万川温泉「憩いの湯」があること。冬でも、温泉で温めた体が冷えないうちに自分のキャンピングカーに戻ることができる。また、隣りがキャンプ場なので、トイレの利用や水の補給、食器洗いなどはすべてキャンプ場の施設を使えることも利点だ。「瀬越海水浴場」までは歩いて2分ほど。クルマからビーチサンダル・水着姿で遊びに行くことができる。

駐車スペースは大型輸入車でもゆったりと収まるスペースが確保され、オーニングを出して椅子やテーブルを広げられる。AC電源供給スタンドはコイン式で1時間100円。電源エリアは現在4台分のスペースが確保されているが、もちろん電源のないエリアでのキャンピングカー泊も可能。

食材の調達や買い物も便利で、500mほど離れた「道の駅ゆとりパークたまがわ」まで行けば、新鮮な魚介類から野菜・果物類、肉類からお菓子類、酒類など、ほとんどのものが手に入る。



Information

- 住所：山口県萩市下田万1740-1 ■ 電話：08387-2-0370
- 台数：(電源エリア)4台
- RVパーク使用料：1日(1泊2日)1,000円 ■ 電源利用料：1時間100円
- 入浴施設：敷地内に田万川温泉「憩いの湯」
- ゴミ処理：受付に相談 ■ 予約：原則不要。問い合わせ可

食 遊 備

[くねるあそび]
kurus-neru-asobi

RVパークたまがわを利用した山口県の斎藤さんご夫妻。「今までは普通の道の駅で泊まっていたが、やはり管理者や周りのクルマに気兼ねすることが多かった。それが堂々と泊まれるようになってありがたい。また電源が取れるので、これからは発電機に頼る頻度も減りそう。騒音の低減や空気の浄化に少し貢献できそう」という



セキュリティー万全な空間でB級グルメを堪能

RVパークおおた 群馬県

「RVパークおおた」の特徴は、夜間も一般車が自由に出入りする一般駐車場とは別のクローズドエリアで宿泊できること。暴走族や不審車などの侵入に怯える必要がないので、小さな子どもがいる家族連れや女子だけの宿泊でも安心だ。さらに夜は巡回員が夜通しの警護に当たるのでセキュリティーは万全。もちろん、深夜に到着しても、「RVパークを利用したい」という旨を巡回員に伝えれば親切に専用エリアに誘導してくれる。このもう一つの特徴は「ケータリングカー」による食事の供給。ラーメン、焼きそば、カレーなどの定番メニューのみならず、ブラジル料理、ボン太焼きなど、この地でなければ食べられないユニークな食べ物を扱うケータリングカーがRVパークエリア前にずらりと並び様子は、まるでB級グルメフェスティバルの会場に足を踏み入れたかのような。地元名産の大和芋を生かした焼酎など、ここならではの土産ものも豊富。近隣の観光施設も充実していて、植物公園、子ども向け遊園地、歴史を学べる遺跡、テーマパークへのアクセスもいい。

Information

- 住所：群馬県太田市粕川町 701-1 ■ 電話：0276-56-9350
- 台数：5台 ■ RVパーク使用料：1日1,000円(水道利用料金を含む)
- 電源利用料：1時間 100円
(希望者に延長ケーブル貸し出しあり。ただし数量に限りあり)
- 入浴施設：約4km先に温泉 ■ ゴミ処理：大型ゴミ袋500円
- 予約：原則不要。事前予約可

道の駅おおた

の駅長を勤める秋山摩実さん。ケータリングカーによる食堂を思いつuitしたのは、「固定食堂によるメニューの固定化を防ぎ、常にフレッシュなお店や料理を提供したいから」とのこと



立ち寄り温泉、居酒屋に近い日本初の都市型RVパーク

RVパークやまが 熊本県

「RVパークやまが」は、わが国でも初めての「都市型RVパーク」。山鹿市のなかでもいちばんの繁華街に位置し、駐車スペースにクルマを置いてから周辺の飲食店や立ち寄り温泉などを利用したり、芝居小屋などを見物することができる。

RVパークが設置されている建物自体にも数々のグルメコーナーや食料品、衣料品、日用雑貨などの店舗が軒を連ねるので、食材の調達を含め、長旅途中の中継基地としては文句のつけようがない。

隣接する温泉「さくら湯」は、宮本武蔵も入浴したと伝えられる歴史を誇る温泉だが、レトロな装いを残したままりリニューアルされ、町の大事な観光スポットになっている。

Information

- 住所：熊本県山鹿市山鹿1番地(温泉プラザ山鹿 北側駐車場)
- 電話：0968-44-4759(平日) / 0968-43-1829(土日)
- 台数：3台 ■ 駐車料金：小・中型車(車高2.2mまで)1泊最大1,300円
- RVパーク使用料：1日1,000円(ゴミ処理、電源、水道、トイレ使用料込み)
- 大型車料金：2,300円(駐車料金、RVパーク使用料、ゴミ処理、電源、水道すべて込み)
- 電源利用料：1時間 100円 ■ 入浴施設：「山鹿温泉元湯さくら湯」が隣接
- 予約：原則不要。事前予約可



さくら湯

キャンピングカー旅行のフィールドは無限に広がっている

RVパークからさらにキャンプ場へ

オススメ!

北関東・東北のキャンプ場セレクト

羽鳥湖高原レジーナの森

福島県・羽鳥湖畔

レイクレジーナを一望できるレストランや、露天風呂にサウナまで完備した天然温泉を持つ高規格キャンプ場。ペット愛好家のための施設も充実しており、天然芝ドッグランなどのほか、愛犬と一緒に泊まれるコテージやペット用温泉まで完備している。周辺にはゴルフ場、スキー場もあって、スポーツを楽しむにも最適。

Information

- 住所：福島県岩瀬郡天栄村羽鳥高戸屋39 ■ 電話：0248-85-2525
- 施設：○オートキャンプ77区画(AC電源付き20区画) ○キャンピングカー4区画
○コテージ各種 ○売店 ○トイレ ○ランドリー ○温泉(羽鳥湖温泉・彩光の湯)
○ペット用温泉 ○レストラン...他
- 料金：○ノーマルサイト4,000～6,000円 ○電源付サイト5,000～7,000円
○キャンピングカーサイト7,000～9,000円
- 施設使用料：○大人1,500円 ○子供1,000円 ○愛犬1頭目1,000円(2頭目以降500円)



大子広域公園 オートキャンプ場グリーンヴィラ

茨城県・大子町

北関東を代表する設備の充実した高規格キャンプ場。バリアフリーが徹底されているので車椅子などを利用している人でも安心。場内には内湯・露天風呂を備えた温泉「ふれあいの湯」があり、車で2分のところにも立ち寄り温泉がある。徒歩5分のところには、1年を通して利用できる温水プール「フォレスバ大子」がある。

Information

- 住所：茨城県久慈郡大子町矢田15-1 ■ 電話：0295-79-0031
- 施設：○オートキャンプ43区画 ○キャンピングカー7区画(給排水、AC電源20A付き)
○各種コテージ ○売店 ○男女別風呂・露天風呂 ○ランドリー ○ダンプステーション...他
- 施設使用料：○4月1日～11月30日=1サイト5,250円 ○キャンピングカーサイト6,300円。
○12月1日～3月31日=1サイト4,200円 ○キャンピングカーサイト5,250円(場内ペット不可)



有野実苑オートキャンプ場

千葉県・山武市

サイトのたたずまいも露天風呂の雰囲気も、どこか庭園風の味わいを持つ落ち着いたキャンプ場。収穫体験のできる農園があるため、レストランで出される食材などにも新鮮な野菜が豊富。キャンピングカーの受け入れにも熱心なオーナーの気配りで、大型キャンピングカーでも使いやすいサイト設計がなされている。



Information

- 住所：千葉県山武市板中新田224 ■ 電話：0475-89-1719
- 施設：○オートキャンプ90区画(AC電源付き) ○売店 ○野菜直売所 ○トイレ・シャワー
○露天風呂・家族風呂 ○子供プール ○レストラン ○ダンプステーション...他
- 料金：○1区画3,000円 ○露天風呂付きサイト6,000円
- 施設管理費：大人1,000円 ○子供500円 ○犬500円

RV Resort 猪苗代湖モビレジ

福島県・猪苗代湖畔

目の前に、風光明媚な猪苗代湖が見渡せる絶好のロケーションに恵まれたキャンプ場。釣りのほか、ゴムボート、デインギ、カヌー、湖水浴など湖上のスポーツならなんでもできるのが特徴。大型キャンピングカーやトレーラーでも快適に利用できるようにサイトも広く、ダンプステーションなども完備。

Information

- 住所：福島県会津若松市湊町大字赤井字笹山原408
- 電話：0242-94-2052
- 施設：○オートキャンプ80台 ○キャンピングカー20台(電源1泊1,000円)
○バンガロー・コテージ ○売店 ○風呂・シャワー ○ランドリー...他
- 料金：○5m以上のキャンピングカー・トレーラー4,000円
○5m未満・一般車3,000円 ○シニア割引有り(60歳以上50%引き)
- 管理料：○大人600円 ○子供400円



食
遊
備
寝
[くうねるあそび]
kuu-neru-asobi

RVパークはキャンピングカーとキャンプ場を結ぶ「中継基地」

一般社団法人 日本オートキャンプ協会 堺廣明 課長

RVパークが、今までのキャンプ場にできないことを補完してくれる施設であるならば、大歓迎です。いま地方経済はどこも不況の影を引きずって、地方自治体が観光行政に力を入れても、なかなか地域全体の活性化を果たせていません。そういうときに、RVパークのようなものが普及し、それによって地域の観光事業が振興するならば、そのエリアの住人にとってはうれしい話ではないでしょうか。キャンプ場にとっても、RVパークを足がかりとして、自分たちのキャンプ場まで足を運んでくれるお客さんが多くなれば、こういう企画を評価するはずで。

特に、日本のキャンプ場は、幹線道路からかなり遠く離れた山奥などにあることが多いわけですね。だから、旅の途中に寄る場所として考えると、そこまで行くのに時間がかかる、と敬遠されてしまうこともあるでしょう。しかし、そこに至るまでの「中継基地」としてRVパークがあるならば、そのついでに、少し先にあるキャンプ場にも出向いてみようか、と考える人たちが出てくるでしょう。そうならば、RVパークがキャンピングカーとキャンプ場を結ぶ接点ともなりうる。それを期待したいですね。(談)

キャンピングカーの「快適さ」を約束する魔法のパーツ群

キャンピングカーには、電気、ガス、水道など普通の家庭と同じようなライフラインを備えているものが多い。だからこそキャンプ場やRVパーク、湯YOUパークなど、どんな場所においても、まるで家の中で過ごすような快適ライフが約束されている。その中には、不意の災害に見舞われたときに役立つものもあるので、備えているだけでも、いざというときに安心。普通の乗用車に比べ、キャンピングカーならではの“魔法の装備”にはどんなものがあるのか。その一部分をここでご紹介。

サブバッテリー



キャンピングカーは、自動車のエンジンを切った後でも、室内を照明で明るくしたり、テレビを見たり、冷蔵庫を使ったりすることができる。そのようなことが可能になるのは自動車用バッテリーとは別に、キャンピングカー室内の電気を使うための「サブバッテリー」というものを備えているから。ここに紹介するのは、代表的なディープサイクルサブバッテリー。液式密閉型メンテナンスフリータイプ。参考価格18,900円

インバーター



キャンピングカーに搭載される電化製品の中には、一般家庭で供給される交流電源(AC)によって駆動するものも多い。それらの機器を車内で使うために用意されているのが、自動車に供給する直流電力(DC)を交流に変換するインバーター。特に正弦波インバーターならマイコン制御の電子機器も使用できるので便利。50Hz/60Hz切り替え式。1500W。参考価格135,450円

LED照明



キャンピングカーの照明は、これまで蛍光灯、白熱灯などでまかなわれてきたが、近年急速に普及してきたのがLED照明。電球としての寿命が長いだけでなく、消費電力が極端に少ないため、サブバッテリーへの負担もかたげず、キャンピングカーの室内照明としては理想的。

発電機



発電機は、AC電源の供給のないところでもエアコン、電子レンジなどの大容量家電製品を安心して駆動できる機器。特にハンディタイプのポータブル発電機なら持ち運びも楽。多少の作動音が発生するので使用する場所が制限されることもあるが、1台あれば、災害によって電気の供給が止まったときにも緊急電源として使えるので安心。参考価格207,900円

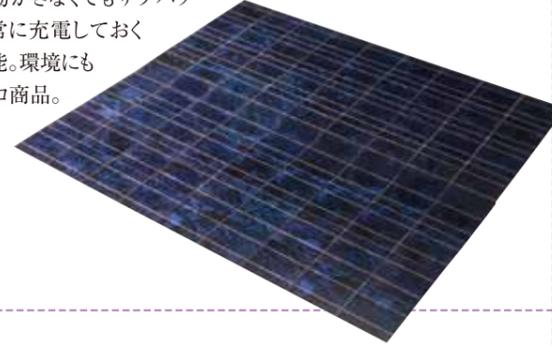
防虫ネット



キャンピングカーの窓やドアを開放したままでも、防虫ネットがあれば嫌な害虫に悩まされることなく、夏のキャンプには必需品。参考価格14,700円～

ソーラーパネル

キャンピングカーにソーラーを取り付けておけば、クルマを動かさなくてもサブバッテリーを常に充電しておくことが可能。環境にも優しいエコ商品。



DC12V電子レンジ

電子レンジは、キャンピングカーの車内で食事を楽しむ時の必需品。ここに紹介するタイプは、DC12VのほかAC100Vでも使用可。高出力インバーター不要で経済的。持ち運びのできるコンパクト設計。色も4色の中から選べる。



ポータブル3ウェイ冷蔵庫

家で使う場合はAC100V、クルマの中ではシガーライターからのDC12V、屋外に出たらカセットガスと、その場に応じた3通りの使い方ができる便利なポータブル冷蔵庫。容量は33リットル(1.5リットルのペットボトル9本)。重量は15kg。参考価格49,800円



ゴミ収納BOX

出先のゴミや車内に置きたくない荷物やちょっとした濡れ物、臭い物の収納などに役立つゴミ収納BOX。後部の金具でラダーにひっかけて固定できる。FRP製なので劣化しにくい。容量は約40リットル。参考価格15,750円



テントルーム

サイドオーニングの下にテーブルと椅子を出すだけでくつろげる空間が生まれるテントルーム。キャンピングカーの隣りに「もうひとつの部屋」ができる。夏にも冬にも快適。キャンプ用、バンコン用がある。参考価格(バンコン用2.5m)45,150円



ポータブルトイレ

キャンプはもちろん、災害や介護などにも最適な持ち運び可能なトイレ。清水タンク15リットル。排水タンク12リットル。参考価格13,545円



3連カセットガス供給機

市販のカセットガスを3本セットしてLPガス器具を使用できる便利な機器。参考価格17,850円



シェード

キャンピングカー泊を暑さ・寒さから守り、プライバシーも確保するシェード。断熱効果も高い7層構造。透け防止の黒い吸盤でワンタッチの簡単装着。参考価格はフロントセットで12,600円～



※ 参考価格が表示されていても小売価格は各キャンピングカーおよびパーツ販売店によって異なる場合がありますので、実際の購入にあたっては最寄りの販売店にお問い合わせください。